

至誠通天

藤井 勇治



※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること

ユネスコ登録後初の長浜曳山祭

「長浜曳山祭」がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本の祭りから世界の祭りとなり、全国や世界に発信し、地域の振興や観光にも生かしてまいります。また、長浜市民の誇りであり滋賀県の宝です。ユネスコ登録後初の長浜曳山祭は、長浜八幡宮の春季大祭に合わせて行われ、4月9日の「線香番」を皮切りに、14日の「夕渡り」、祭りの本日である15日は大変な賑わいとなりました。この祭りの始まりは長浜城主の秀吉公に由来し、山組の皆さんが連綿と400年を越えて受け継いできました。絢爛豪華な山車は「動く美術館」と評され、その山車の上で子どもたちが「歌舞伎役者」となり、見事な歌舞伎を演じるのがこの祭りの真骨頂です。長浜八幡宮のお旅所を守護する長刀山のもと、出番山の4山に加えて、暇番山の8山勢揃いで大きな華を添えて、絢爛豪華な長浜曳山祭となりました。



▲賑わっている曳山祭

今回の祭りには山組の皆さんのもとに大勢の市内外のボランティアの皆さんが集まり、支えていただきました。学生さんや企業、団体の皆さんに加え、今年は市職員100人が参加し、大応援団が大汗をかいて、盛り上げてくれました。みんなの力が総結集したのです。さらに、全国から7万人を超える人たちが賑わう中、外国人の方も目立ち、国際色豊かな風景が広がりました。政府から山本地方創生大臣や内閣府、総務省の方々も見学されて、感動されました。「祭」は人と人を結び地域を元気にし、栄えるまちを創ります。みんなの力で未来永劫、継承していかなければなりません。

長浜市福寿大学の受講生を募集します

長浜市民交流センター(☎65-3366)

健康、歴史、経済、くらしなどをテーマにした全7回の講座です。心豊かな生きがいのある人生を送りませんか。
【ところ】長浜市民交流センター(地福寺町)
【対象】市内在住・在勤の人 【定員】280人(先着順)
【受講料】2,500円(全7回)

※10月18日(水)に参加自由・料金別途の研修旅行を予定
【申込期間】5月11日(木)～※定員になり次第締切り 9時～16時(水曜日休館)
【申込み】受講料を添えて長浜市民交流センター窓口まで。

回	開講日	テーマ	講師(敬称略)
1	6月9日(金)	「私の人生」	元衆議院議員(10期) 古賀 誠 運輸大臣(72代) 古賀 誠
2	7月4日(火)	「災害から命を守るには」	NPO法人まちの防災研究会代表 松森 和人
3	7月20日(木)	「井伊直政の生涯と彦根藩」 ～大河ドラマ『おんな城主 直虎』に寄せて～	市民協働部 次長 太田 浩司
4	8月8日(火)	「日々是好日」 ～一に掃除 二に笑顔 三四元気に おかげさま～	大安禅寺 副住職 高橋 玄峰
5	9月8日(金)	「生涯現役を目指す健康術」 ～生活習慣病をガツン!と予防～	お笑い理学療法士 日向亭 葵
6	10月5日(木)	「元気あふれる講演会」 ～笑顔をかち合う豊かな未来～	mottoひょうご 事務局長 栗木 剛
7	11月14日(火)	「夢に向かって落語に生きる」 講演と落語	落語家 露の 都

※講座時間はいずれも13時30分～15時30分

お元気ですか



市立湖北病院 院長 田中 新司

院長就任にあたり

このコーナーでは、病院事業のスタッフの紹介を兼ねて、病院施設や体制のほか、生活に役立つ「健康豆知識」などを紹介します。

こんにちは。この春、長浜市立湖北病院長に就任しました田中 新司です。当院の歴史は旧く、一昨年には県下の自治体病院の中で2番目となる「創立百周年」を迎えました。市北部の病院であり、馴染みのない人もいらっしゃると思いますので、当院の診療体制等について紹介させていただきます。当院は、土曜日も診療を行っており、内科では消化器、糖尿病のほか様々な疾患に対応するとともに、内視鏡検査やMR検査等の検査体制の充実にも努めています。泌尿器科では、排尿に関する悩みの診療や手術、血液透析など、経験豊富な医師やスタッフが担当します。そのほか、小児科、外科、眼科、歯科口腔外科など、

地域にない診療体制の維持に努めています。また、市と一体となって医師確保に取り組んできた成果として、本年1月には整形外科、4月からは皮膚科の常勤医師が着任しました。他の医療機関や開業医との連携においては、診療紹介に速やかに対応し、大学や市立長浜病院、長浜赤十字病院からは必要な診療科の医師派遣を受けるなど、近隣病院や診療所との連携を大切にしています。当院は、地域で唯一の有床医療機関としての役割だけでなく、「初診医」、「かかりつけ医」としての機能も担っており、併設の老人保健施設や訪問看護ステーション等と連携した在宅療養まで、切れ目のないサービスを提供する「地域完結型医療」を目指しています。院内には地域連携室や、市の地域包括支援センターもあり、医療や介護の相談窓口として、市民の皆さんに活用していただきたいと思います。

問 長浜市立湖北病院 (☎82-33315(代表))

未来を創る子どもたち

あいさつする七尾っ子

七尾小学校の自慢は児童の元気なあいさつです。朝と帰りに校門、昇降口、職員室の入り口で「おはようございます」「さようなら」の元気なあいさつが飛び交います。学校では毎朝、各学年が順番に「みんなであいさつ」のたすきをかけて、職員室や各学年の教室を元気にあいさつしながら回る活動を行っています。平成28年度からは、あいさつにお辞儀が加わりました。これは「今までの取組に何か1つプラスしよう」と5年生の提案から始まり、1

に定着しました。さらに5年生は、学校内の挨拶チャンピオンを作りメダルで表彰する活動も行いました。表彰を受けた児童は全校の挨拶リーダーです。また、水曜日の全校下校の前には、かけ合の挨拶練習も行っています。「朝出会ったら」「おはようございます」「何かしてもらったら」「おはようございます」「ありがとうございます」「迷惑かけたら」「ごめんなさい」・「お辞儀をつけた大きなあいさつの声が返ってきます。本校が長年大切に取組んできた三つの「あ」の取組の1つである「あいさつする七尾っ子」が児童の中に根付いています。あいさつは、地域の方や来校者に対しても広がっています。「長浜っ子のちかい」を実践につなげ、子どもたちは日々成長を続けています。



▲お辞儀をしてあいさつをする七尾っ子

- めざす子ども像**
 - 一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
 - 一、思いやりのある心のやさしい子
 - 一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子
- 長浜っ子のちかい**
 - ～わたしたちはちかいます～
 - 一、元気にあいさつをします
 - 一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
 - 一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
 - 一、困っている人がいたら言葉をかけます
 - 一、人の話をしっかり聞きます
- 長浜子育て憲章**
 - ～おとなが実践します～
 - 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
 - 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
 - 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
 - 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
 - 一、長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます
- 七尾小学校三つの「あ」の取組**
 - ・あいさつする七尾っ子
 - ・あたたかな心の七尾っ子
 - ・あきらめない七尾っ子